

## 公開授業学習指導案

- 1 期 日 7月12日(月)
- 2 時 間 5限 「時事英語」
- 3 対 象 英語科3年
- 4 単 元 医療問題に関するディベート活動  
「日本人全員が臓器提供者になるべきである」

### 5 単元目標

臓器移植に関する基本的な語彙や情報を学習し理解する。  
ディベートのフォーマットを理解する。  
インターネットなどを活用して情報を収集し、立論、反論を英語で作成する。  
データに基づいた効果的な発表方法を模索し、習得する。  
聴き手はフローチャートに記入しながら、発表者の発言を理解する。  
聴き手は定められた価値規準に従って勝敗を決定する。

### 6 単元設定の意図

#### 生徒観

生徒41人のうち17人が実用英語技能検定の2級を取得し、4人が1年間の留学を修了したばかりである。学力差はあるが、概して英語のコミュニケーション活動に対する学習意欲は高い。どんな活動にも真摯に取り組み、グループ発表では協力して課題を解決することができる。

例えば、1年次にパブリックスピーキングやライティングなどの活動を通して自分の気持ちや考えを基本的な英語を使って発信する練習を行い、2年次には短いスキットや身近な話題に関するディベートなどを通して他者と意見を交換し合う、より発展的な練習を行った。また3年次には「高校生にはカメラ付き携帯電話は必要ない」(4月)、「清涼飲料水は、紙パックではなくペットボトルで販売されるべきだ」(5月)をテーマにディベートやエッセーライティングを行った。生徒は難しい課題にますます果敢に取り組み、「物事に対する問題意識」、「情報処理能力」、「論理的思考力」、「相手の立場になって物事を考える協調性」など、これからの国際社会を担う若者に必要な素地を身につけている。

#### 教材観

3年次の時事英語では、情報技術・環境・医療・教育・青少年・国際化に関わる時事問題を取り上げ、ディベートとエッセーライティングを行っている。特にディベートは、相手の発言を正確に把握する理解力、論理的な思考力、即座に自分の意見を正確に伝える表現力を要する高度な言語活動であり、本校のSELHiプロジェクトの「話すこと」における最終到達目標に設定している。

今回取り上げた「日本人全員が臓器提供者になるべきである」は、ともすれば感情論に流される命題といえるが、資料を収集し、客観的に、かつ論理的に意見を組み立てる練習が効果的に行えると考えている。

#### 指導観

英語科第3学年の時事英語では教科書を使用せず、英語の雑誌、英字新聞、インターネットなどの情報をわかりやすくリライトしたものを導入部の教材として活用している。それら

外の情報や資料は、すべて生徒がインターネットなどを活用して収集している。

これまで生徒の主体性の育成をめざして、資料収集、立論・反駁作成はすべて生徒自らが  
行い、担当教員の役割は英文の校正、発音・発表練習での助言のみにとどめてきた。学年末  
までに、「資料やデータを効果的に提示しながら意見を述べる」「ジャッジを設定し、公平  
に勝敗を決定する」「ディベート活動をすべて生徒の手で運営する」ことを目標にしている。

本時のために、語彙シート（発表の中で使用される難しい語彙を解説したもの）、フロー  
シート（聴く側がディベートの流れを把握するためのもの）と評価シート（発表者の態度や  
発音の正確さを評価したり、勝敗をジャッジしたりするためのもの）を用意した。

## 7 学習指導計画（時間数）

次	学習内容・学習活動
1	・本単元の目標と話題を提示する ・プリント を学習して背景知識を得る ・プリント で自分の意見を述べる練習を行う。
2	・プリント でディベートのフォーマットを理解する。 ・賛成と反対のグループに分かれ、グループで3つの立論を作成する。 （プリント に書いて提出する。）
3	・対戦グループと立論をお互いに交換する。 ・交換した立論をもとに、グループで3つの反論を作成する。 （プリント に書いて提出する。）
4	・資料やデータを用意する。 ・ディベートの練習を行う。
5 本時	・ディベートの前にプリント で発表で使われる語彙を確認する。 ・ディベートを行う。 ・聴き手は、プリント を使って流れを理解する。 ・聴き手は、プリント を使って発表者を評価する。 ・発表に対するジャッジを決定し、ディベートの感想を述べる。
6	・ディベートの前にプリント で発表で使われる語彙を確認する。 ・ディベートを行う。 ・聴き手は、プリント を使って流れを理解する。 ・聴き手は、プリント を使って発表者を評価する。 ・発表に対するジャッジを決定し、ディベートの感想を述べる。

## 8 本時案

### (1) 主眼・ねらい

- ・ディベートの前に発表で使われる語彙を理解する。
- ・ディベートを円滑に行う。
- ・聴き手は、フローシートを使ってディベートの流れを理解する。
- ・聴き手は、評価シートを使って発表者を評価する。
- ・聴き手はジャッジを行い、ディベートに対する感想を日本語で述べる。

### (2) 準備

ストップウォッチ  
プリント ~



( )

Tissue: A group of cells which act [ ] to perform a special function  
(skin, bone, cornea)

( )

Organ: Different kinds of [ ] that work together to do a special job  
in the body (heart, lung, kidney, liver, pancreas)

( )

Medication: Medicine; used to treat or [ ] illness or infection

( )

Transplant: To move from one [ ] to another body.

( )

Donor: Person who [ ] something.

( )

Recipient: Person who [ ] something

( )

Matching: Comparing objects with similar characteristics; being [ ],  
equal, or exactly alike.

( )

Rejection: When the recipient's body will not accept the [ ] from  
the donor.

( )

Dialysis: A medical process for cleaning a person's [ ] when the  
kidneys cannot

( )

- |            |                 |          |           |       |       |
|------------|-----------------|----------|-----------|-------|-------|
| 1. 薬剤      | 2. (腎臓 / 血液) 透析 | 3. 組織    | 4. 臓器     | 5. 適合 | 6. 拒絶 |
| 7. 「命の贈り物」 | 8. 移植           | 9. 臓器提供者 | 10. 移植希望者 |       |       |

### ON YOUR OWN:

What tissue can people donate?

What organs can people donate?

Do you have a donar card? Why or why not?

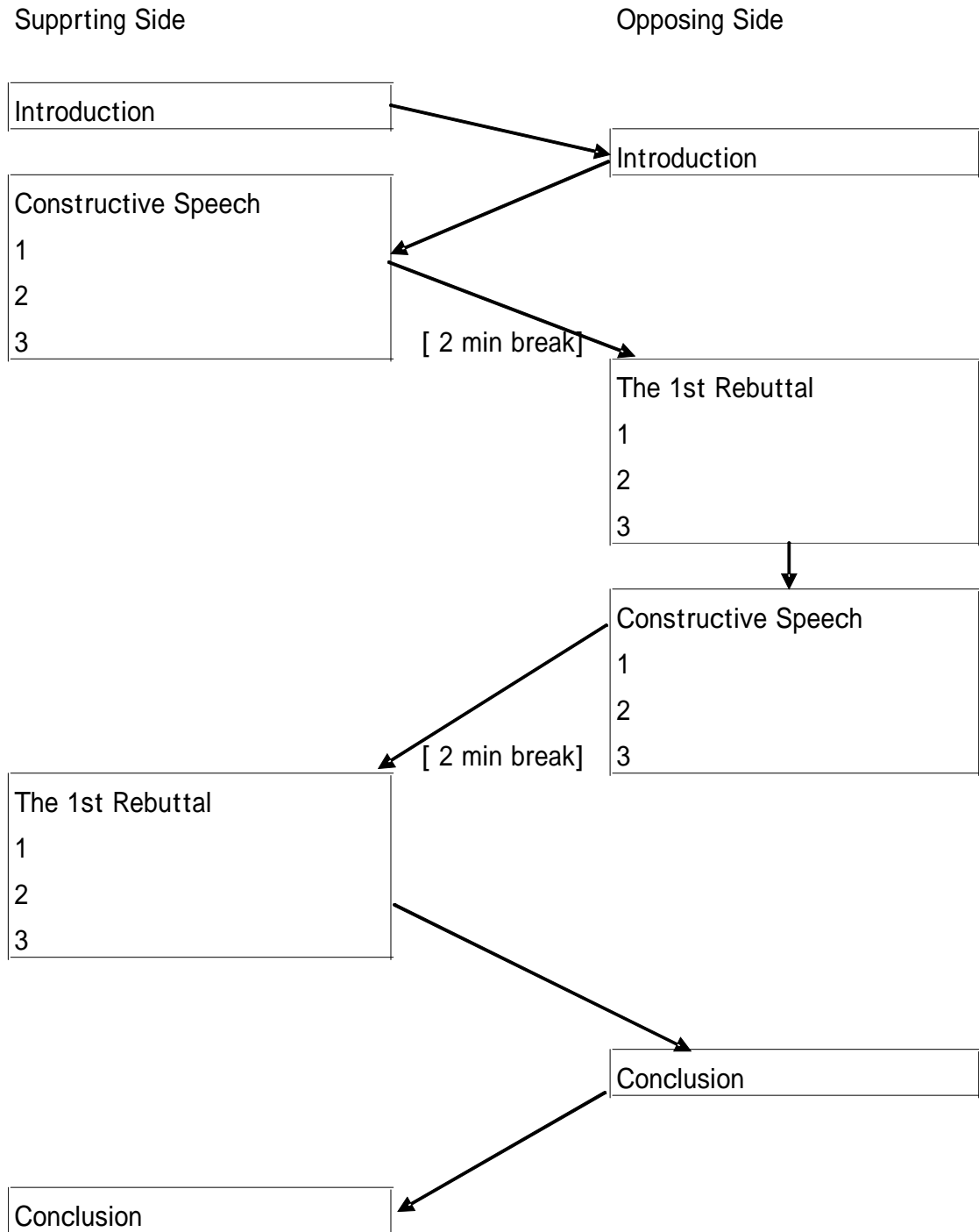
### DISCUSSION IN A GROUP:

Tad's father was very ill. Without a new kidney, he could not live for long. Tad decided to donate one of his kidneys to his father. Both of them are now healthy and happy.

Would you ever donate a kidney to a family member? Why or why not?

プリント

## Debate Format



プリント

Resolution(論題)

" All Japanese should be organ donors."

Supporting / Opposing Constructive Speech (立論)

1.

2.

3.

Team Names

---

プリント

Resolution(論題)

” All Japanese should be organ donors.”

Supporting / Opposing Rebuttal (反論)

1.

2.

3.

Team Names

プリント

DEBATE FLOW CHART

3-E No( ) Name( )

Resolution \_\_\_\_\_

	Opposing Side Rebuttal	Opposing Constructive Speech		O Answer	O Rebuttal	
1	1	1	1			
2	2	2	2			
3	3	3	3			



# プリント

評価シート Evaluation Sheet

第 \_\_\_\_ ラウンド

対戦チーム：肯定側\_\_\_\_ 対 否定側\_\_\_\_

点数は各項目 C（低評価）～A（高評価）で判定する。

肯定側 Affirmative side	評価 A-C
肯定側立論の 1 番目の理由は成立したか	
肯定側立論の 2 番目の理由は成立したか	
肯定側立論の 3 番目の理由は成立したか	
肯定側反論の 1 番目の理由は成立したか	
肯定側反論の 2 番目の理由は成立したか	
肯定側反論の 3 番目の理由は成立したか	
このグループの発表者は適切な資料を使ったか	
このグループの発表者は適切な英語を使ったか	
このグループの発表者の声の大きさ、速さ、言葉遣いは適切であったか	
このグループの態度、マナーは良かったか	
<b>総合評価 (A-C)</b>	

否定側 Negative side	評価 A-C
否定側立論の 1 番目の理由は成立したか	
否定側立論の 2 番目の理由は成立したか	
否定側立論の 3 番目の理由は成立したか	
否定側反論の 1 番目の理由は成立したか	
否定側反論の 2 番目の理由は成立したか	
否定側反論の 3 番目の理由は成立したか	
このグループの発表者は適切な資料を使ったか	
このグループの発表者は適切な英語を使ったか	
このグループの発表者の声の大きさ、速さ、言葉遣いは適切であったか	
このグループの態度、マナーは良かったか	
<b>総合評価 (A-C)</b>	

試合の勝者は \_\_\_\_\_ チーム！

メモ

(2) 第2回運営指導委員会

平成16年度 SELHi 第2回運営指導委員会公開授業学習指導案

教諭 梅地 哲郎  
教諭 石田 尚子  
外国語指導助手 Thomas Rogers  
外国語指導助手 Elijah Rittenhouse

- 1 期日 11月15日(月)
- 2 時間 5限 「時事英語」(13:10~13:55)
- 3 対象 2年E組(英語科)37人(男子5名 女子32名 女子3名留学中)  
少人数2クラスに分割
- 4 単元 効果的な伝達方法を磨くスキット  
テーマ「誤解」

5 単元目標

「自分」を効果的に表現し、相手に伝達する練習をする。  
わかりやすい言葉で内容を伝える工夫をする。  
パフォーマンスとして相手を楽しませる。  
聴き手は「誤解」の内容を理解する。

6 単元設定の意図

生徒観

学力差はあるが、概して英語のコミュニケーション活動に対する学習意欲は高い。活発なクラスで、恥ずかしいという気持ちを早い段階で克服している。効果的に自分を表現する練習として1年次よりスキットを取り入れ、楽しみながら豊かな表現力を高めてきた。当初は、声の大きさ、明瞭さに重点を置いていたが、今年度はより高度な身体表現や、創造的な内容に重点を置いている。

教材観

本校では、相手の発言を正確に把握する理解力、論理的な思考力、即座に自分の意見を正確に伝える表現力を要する高度な言語活動であるディベートを「話すこと」における最終到達目標に設定している。2年次の時事英語では、相手の意見を聞き取り、自分の意見を素早く効果的に伝達することを目標にしている。身近な問題(「日本の全高校生は英語を学ぶべきである。」等)を題材に、素早い意見交換の練習、ミニディベートを行い、ディベートの基礎を学んでいる。スキットは、相手を納得させる意見を豊かな表現力で効果的に伝達する練習として適当だと考える。

7 学習指導計画（時間数）

次	学習内容・学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキットのテーマを提示する。</li> <li>・ 単元の目標と評価の観点を提示する。</li> <li>・ テーマに沿ったスキット内容を考えさせる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文法的な誤りを直し，原稿の添削をする。</li> <li>・ 発音や間の取り方の練習をさせる。</li> </ul>
3～4	・ リハーサルを通して改善させる。適宜助言を行う。
5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表</li> <li>・ 他のペアの発表内容を理解させる。</li> </ul>

8 本時案

(1) 主眼・ねらい

- ・ 評価の観点を意識し，相手にわかりやすいパフォーマンスを見せる。
- ・ 聴き手は，「誤解」の内容を理解する。

(2) 準備

- ・ 各ペアの内容をメモするプリント

(3) 学習過程

学習内容・学習活動	生徒の反応	教師の支援・評価等
ウォームアップ Shouting（5分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室の両端にペアがわかれ，週末について大声で伝える。</li> <li>・ 相手の話をしっかり聞く。</li> </ul>	・ お互いの話の内容が合っているか，数ペアに聞く。
評価基準の提示 （2分）	・ 発表時にどこに最も気をつけるべきか確認する。	・ 発表の際に特に注意する基準を確認する。
スキット発表 （30分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10ペアが全員の前でスキットを行う。</li> <li>・ 発表ごとにプリントに「誤解」の内容を記入する。</li> </ul>	・ 評価シートに各ペアの発表を評価する。
まとめ （8分）	・ 最も効果的に演技をしたと思われるペアを選び，その理由を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALTが総評を述べる。</li> <li>・ 校内スキットコンテストについて予告。</li> </ul>

## Misunderstanding makes our life complicated...

names	Content	names	Content
1 .		2 .	
3 .		4 .	
5 .		6 .	
7 .		8 .	
9 .		10 .	

Which pair is the best?

Why?

教員用評価シート

# CM Class

Date: Nov. 15 2004

Name \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

<b>Content</b>	1	2	3	4	5
<b>Voice</b>	1	2	3	4	5
<b>Body language</b>	1	2	3	4	5

**Content:** Their skit should be clear to make the audience understand what the misunderstanding is.

It should be free from grammatical errors.

It is expected to entertain the audience.

**Voice:** Their voice should be loud enough so that everyone can hear them.

Their skit should be clear and pronunciation should be free from strong Japanese accent.

**Body language:** They should use enough body language while they are acting.

**Comments:** \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

score
-------

### (3) 第3回運営指導委員会

#### 平成16年度 SELHi 第3回運営指導委員会公開授業学習指導案

教諭 山田 芳彦  
教諭 大田 子  
外国語指導助手 Thomas Rogers  
外国語指導助手 Elijah Rittenhouse

- 1 期日 2月18日(金)
- 2 時間 5限 「コンピュータ・LL 演習」(13:10~13:55)
- 3 対象 1年E組(英語科)42人(男子8名 女子34名)
- 4 単元 効果的な伝達方法を磨くスピーチ及びスキットの発表  
スピーチのテーマ「New Year's Resolutions」  
スキットのテーマ「4つ以上のキーフレーズを使ったスキット」

#### 【提示した8つのキーフレーズ】

\*What's the secret? \*No time to explain. \*What a windfall! \*Sorry to bother you. \*That's that. \*It's not easy. \*I can't thank you enough. \*I never thought about it.

#### 5 単元目標

「自分」を効果的に表現し、相手に伝達する練習をする。  
わかりやすい言葉で内容を伝える工夫をする。  
パフォーマンスとして相手を楽しませる。  
聴き手は発表の内容を理解する。

#### 6 単元設定の意図

##### 生徒観

学力差はあるが、概して英語のコミュニケーション活動に対する学習意欲は高い。スピーチを段階的に行っている。人前で話すことに慣れることから始め、次第に感情や抑揚を加えて、前回からは原稿を見ずに行っている。

効果的に自分を表現する練習として昨年12月よりスキットを取り入れ、楽しみながら豊かな表現力を高めてきた。声の大きさ、明瞭さに重点を置き自分の言いたいことを正確に伝えることを目指して学習を進めている。

##### 教材観

本校では、相手の発言を正確に把握する理解力、論理的な思考力、即座に自分の意見を正確に伝える表現力を要する高度な言語活動であるディベートを「話すこと」における最終到達目標に設定している。1年次のコンピュータ・LL 演習では、身近な話題に関する英語を聞き取り、自分の意見を積極的に伝達することを目標にしている。短い会話文を題材に、ロールプレイで会話のリズムやタイミングの練習、賛否に理由を加える練習を行い、ディベートの基礎を学んでいる。スキットは、意見を豊かな表現力で効果的に伝達する練習として適当だと考える。

7 学習指導計画（年間）

	テスト課題
5月	第1回スピーチテスト Title: My Dream
7月	第2回スピーチテスト Title: Love is more important than money. or Money is more important than love.
10月	第3回スピーチテスト Title: The Olympics in Athens
11月	1, 2学年英語科合同授業（2年生のスキット参観とワークショップ） 第4回スピーチテスト Title: My Most Exciting Experience This Year
12月	第1回スキットテスト（2つ以上のキーフレーズを使うこと） 【提示した4つのキーフレーズ】 *I have no choice.                      *That's a matter of opinion. *Can I take a rain check?       *It sounds fishy to me.
1月	第5回スピーチテスト Title: New Year's Resolutions
2月	第2回スキットテスト（4つ以上のキーフレーズを使うこと）
本時	第2回スキットと第5回スピーチの発表

8 本時案

（1）主眼・ねらい

- ・評価の観点を意識し，相手にわかりやすいスピーチ・スキットを見せる。
- （スピーチ）Pronunciation(5点), Fluency(3点), Content(2点) 合計10点
- （スキット）Voice& Pronunciation(5点), Expression(3点), Story(2点) 合計10点
- ・聴き手は，スピーチ・スキットの内容を理解する。

（2）準備

- ・スキット，スピーチの内容をメモするプリント

（3）学習過程

学習内容	学習活動
ウォームアップ （10分）	・みんなで歌を歌う。『ダンシング・クイーン』（アバ） ・ALTの指示に従ってウォームアップを行う。
スキット発表 （15分）	・生徒の司会によって発表を進める。 ・スキットを発表する。（7ペア） ・その他の生徒はスキットで使われた表現を聞き取りメモする。
スピーチ発表 （20分）	・生徒の司会によって発表を進める。 ・時間の許す限り，スピーチを発表する。 ・その他の生徒はスピーチの内容を聞き取りメモをとる。